第二十八講　条件付き作文

Step 1

一　ある新聞に掲載された次の投書を読んで、あとの〈条件〉にしたがい、〈注意事項〉を守って、あなたの考えを書きなさい。

投書　平成二十八年二月八日付け

> **孫の言葉に違和感**
>
> 自営業　千葉太郎
> （千葉県　78）
>
> 孫にビデオカメラの使い方を尋ねたときのこと。孫が「詳しくは後で。今は、ざっくりと説明するね。」と言うのです。
>
> 「ざっくり」の意味がわからず聞き返すと「おおざっぱに」という意味合いだとか。
>
> 私は「ざっくり」は、別の意味で使っています。日頃使わない表現なので違和感を覚えたのですが、私だけなのでしょうか。

〈条件〉

① **二段落構成**とし、**十行以内**で書くこと。

② 前段では、次の資料1や資料2（どちらか一方または両方）から読み取れることを根拠にして、投書の問いかけについてあなたの考えを書くこと。

③ 後段では、前段の内容をふまえて、言葉の新しい使い方についてのあなたの考えを書くこと。

〈注意事項〉

① 氏名や題名は書かないこと。
② 原稿用紙の適切な使い方にしたがって書くこと。
ただし、〜〜や＝＝などの記号を用いた訂正はしないこと。

資料1　国語辞典の説明の比較

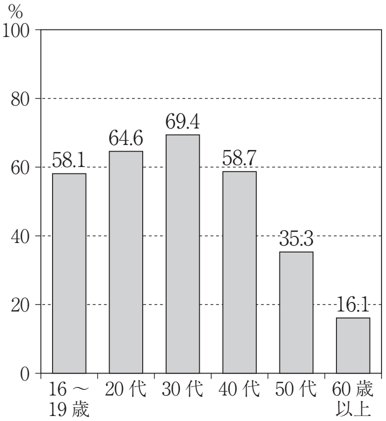
二〇〇二年版の国語辞典A

ざっくり〔副〕❶力を込めて一気に切ったり割ったりするさま。「厚紙に―(と)はさみを入れる」❷大きく割れるさま。「―(と)割れたスイカ」❸布地・編み物の目や手触りがあらいさま。「―(と)したセーター」

二〇一〇年版の国語辞典A

ざっくり〔副〕❶力を込めて一気に切ったり割ったりするさま。「厚紙に―(と)はさみを入れる」❷大きく割れるさま。「―(と)割れたスイカ」❸布地・編み物の目や手触りがあらいさま。「―(と)したセーター」**❹大まかであるさま。「―(と)計算したところでは」**

資料2　「ざっくりとした説明」という言い方をしたことがある人の割合



平成24年度「国語に関する世論調査」（文化庁）により作成

【千葉県】

10行	9行	8行	7行	6行	5行	4行	3行	2行	1行

Step 2

二

「方言で話すこと」について、あなたの考えや意見を、次の〔注意〕にしたがって書きなさい。

〔注意〕

① 題名は書かずに本文から書き出しなさい。
② あなたの体験や見たり聞いたりしたことを具体的に書きなさい。
③ あなたの考えや意見が的確に伝わるように書きなさい。
④ 原稿用紙の使い方にしたがい、全体を百六十字以上二百字以内にまとめなさい。

160

【三重県】

200

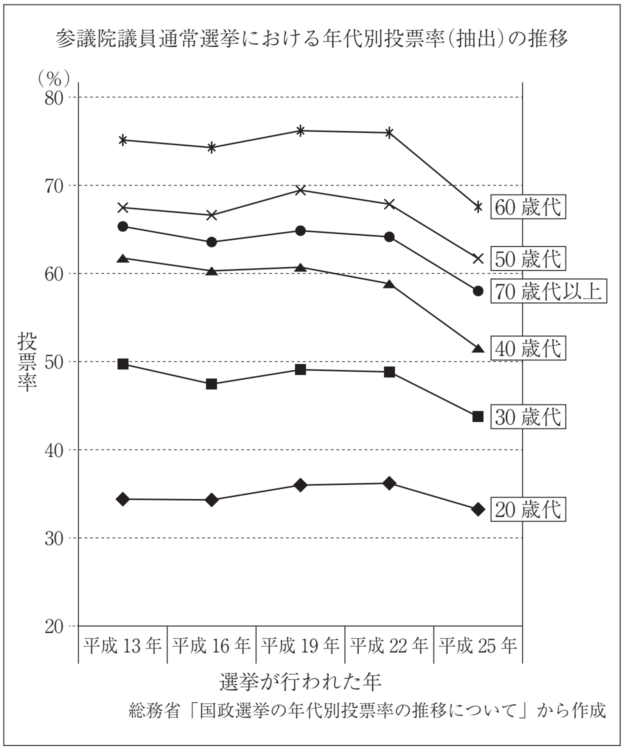
Step 3

三 太郎さんと花子さんは、国語の授業で、批評する文章を書く学習をしている。次は、【授業中の一場面】、【選挙に関する資料】、【選挙啓発のポスター】である。これらを読んで、条件1から条件4に従い、作文せよ。

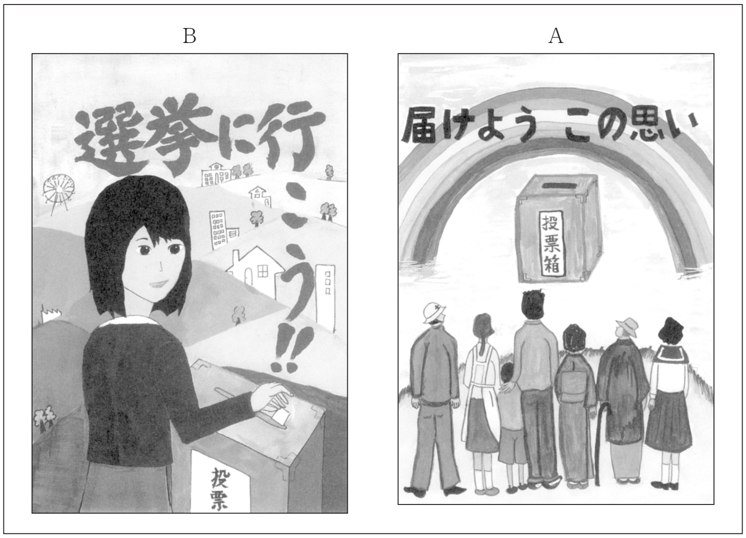
【授業中の一場面】

先生　皆さんは、効果的なポスターとはどのようなものだと思いますか。
太郎　目的や相手を意識して描かれたポスターだと思います。
花子　私は、表現の仕方に様々な工夫がなされているものだと思います。
先生　そうですね。二人とも、とても大切なことを述べてくれました。この【選挙に関する資料】を見てください。これは3年ごとに行われる参議院議員通常選挙に関する資料です。この資料をもとに、【選挙啓発のポスター】が描かれました。
　さて、【選挙に関する資料】からは、選挙における投票について様々な課題が読み取れますね。そのような課題の解決を図る上で、あなたなら、【選挙啓発のポスター】のAとBの2枚のうち、どちらがより効果的だと考えますか。

【選挙に関する資料】



【選挙啓発のポスター】



条件1　文章は、二段落構成とすること。

条件2　第一段落には、【選挙に関する資料】を見て、選挙における投票について課題として挙げられることを書くこと。

条件3　第二段落には、第一段落で挙げた課題の解決を図る上で、あなたなら、【選挙啓発のポスター】のAとBの二枚のうち、どちらがより効果的だと考えるか（どちらのポスターを選んでもかまいません。）、あなたの考えを理由とともに書くこと。

条件4　題名と氏名は書かず、原稿用紙の正しい使い方に従い、十行以上、十二行以内で書くこと。なお、数値を原稿用紙に書く場合は、次の例にならうこと。

例　| 20 | % |

【福岡県】

第二十八講　条件付き作文

Step 1

一

解答

（例）資料2から、六十歳以上では「ざっくりとした説明」という言い方をしたことのある人が二割にも満たないことがわかります。千葉さんが違和感を覚えるのはもっともです。

私は、多くの人が大切にしてきた元々の意味をしっかりと受け継いでいきたいと思います。また、言葉は変化し続け、新しい使い方も生まれてくるので、それらを積極的に取り入れて語いを増やし、自分の表現の幅を広げていきたいです。（10行）

解説

資料1では二〇一〇年版の国語辞典Aに❹の項目が増えていること、資料2では「ざっくりとした説明」という言い方をした60歳以上の人の割合が少ないことを根拠にして、投書の問いかけに答える。

Step 2

二

解答

（例1）私は、方言で話すことは、同じ地域に育った人とのつながりを大切にすることだと思う。

方言は、私にとって、自分の気持ちをいちばん素直に表現できる、身近で愛着のある言葉である。私は、同じ地域の人と方言で話しているとき、思いや感情がよく伝わり、お互いの心が通じ合っているような安心感をおぼえて、いつも温かい気持ちになる。

私は、地域の中で受け継がれてきた方言を、これからも大切にしていきたい。（195字）

（例2）私は、方言で話すことは、それぞれの地域の特色を大切にすることだと思う。
方言は、地域の生活に深く根差し、風土や習慣をこまやかに映し出すものである。例えば、雪の多い地域では、雪のさまざまな状態を区別するため、雪国ならではの方言が多く存在すると聞く。私は、方言の背景にある、地域の特色について理解を深め、地域に受け継がれてきた方言で話すことを、これからも大切にしていきたい。（190字）

Step 3

三

解答

（例）年代別の投票率を見ると、若い年代ほど投票率が低く、さらに、最近の選挙では、どの年代でも投票率が下がっていることがわかる。そのため、特に若い人たちが投票しようという気になることと、すべての年代の人が投票の重要性を再認識することが課題となる。
そのためには、Aのポスターの方がより効果的だと思う。子どもから老人まで描かれ、すべての年代の人たちが選挙に関心を持つことを訴えている。若い人たちも有権者としての自覚を持ち、投票で政治への思いを届けることの大切さが伝わるポスターだと思う。（12行）

解説

【授業中の一場面】から、「効果的なポスター」とは、「目的や相手を意識して描かれた」ものであり、「表現の仕方に様々な工夫がなされているもの」であること、また、【選挙に関する資料】から、若い年代ほど投票率が低いこと、どの年代でも最近の投票率が下がっていることなどをおさえる。こうしたことをふまえて、【選挙啓発のポスター】を選び、自分の意見をまとめる。